

セーフティ教室 (情報モラル講習会)

生活健康部 西川 鏡子

9月27日に5・6年生と保護者の方を対象として、セーフティ教室（情報モラル講習会）を実施します。5・6年生には、ネットを使った情報発信やより良い使い方について話をさせていただく予定です。また、保護者の方には、こどもたちを取り巻くインターネット環境やトラブル、長時間利用がなぜ起こるのか、またその対策について講習をさせていただきます。

5月には、タブレットを安全に効果的に使うことについて、安全指導で全校のこどもたちに話をしました。タブレットは楽しく学習を進めるときに欠かせないものであり、自分の考えを書いたり伝えたりするときに使う道具です。学習の道具として授業中使うことはもちろんですが、自分たちが気になる事柄についてさっと調べるなど、身近な道具として活用している様子が見られます。しかし、学習の道具として使うことができる半面、学習とは関係ないことを見たり、ゲームをしたりしてしまうという実態もあります。

4月に配布した「SNS 小池小ルール」を活用して、便利な道具であるタブレットを上手に使うことについて、学校でも指導を続けていきます。ぜひご家庭でもお子さんと話をする機会を作ってみてください。また、9月27日のセーフティ教室（情報モラル講習会）にご参加いただき、デジタル機器を活用することも子どもたちをネットトラブルから守るためにご家庭でできるサポートや心構えをぜひ聞いてみませんか。

「ひまわり」のように

5年担任 藤江 海

「ひまわりのようにみんなで同じ方向を向き、自分たちで明るい日々を作り出していきたい。」

学年目標を決める際に、こどもたちからそんな言葉が出てきたことを昨日のこのように思い出します。できたのが「咲かせよう 自律して ひまわりを」という学年目標。こどもたちは保護者の皆様からいただいた言葉とその意味を受け取り、自分たちの受けている愛情に気づき、未来に希望をもって力強く学年目標を決めました。そして今、1学期を振り返ると、こどもたちはこの学年目標を強く意識して行動していたのだと、改めて感じます。それが特に顕著に表れたのが、伊豆高原移動教室でした。

全体の動きを意識し、予定の5分前には活動ができるように動き続ける姿。雨天による予定の変更を素直に受け入れ、柔軟に対応する姿。ハイキングなどの初めての体験も「頑張れ」「荷物もつよ」「あともう少し」と励まし、友達と一緒に乗り越えていく姿。一緒に生活する友達のよさを見付け認め合いながら、自分たちで笑顔や充実した時間を作り出す姿。移動教室で見せるどの姿からも「みんなで前を向いて、よりよい時間をつくっていこう」という強い意志と成長を感じました。そして、そんな時にある曲の一節を思い出しました。

「向日葵のように咲いて 天を仰いで笑って」

これは、Ado の「向日葵」という曲の一節です。2学期もこの歌詞のように、こどもたちが明るく希望に満ち溢れた方向に一丸となって進んでいけるように、そしてこの学年が終わる時にこどもたちが最高の笑顔でいれるように共に歩いていきます。